

【柱4:まち】

新たな都市の魅力を生み出すため、阪急長岡天神駅周辺地区の整備に着手します。また、防災機能の強化を図り、自然環境、都市機能と住生活の調和が保たれたまちを築くとともに、工業、商業、農林業によるさらなる都市の魅力・活力をつくっていきます。

■ 分野別の達成状況

施策の達成状況をみるとすべての施策が2点台となっていますが、とりわけ「道路空間の整備」が2点で低くなっています。

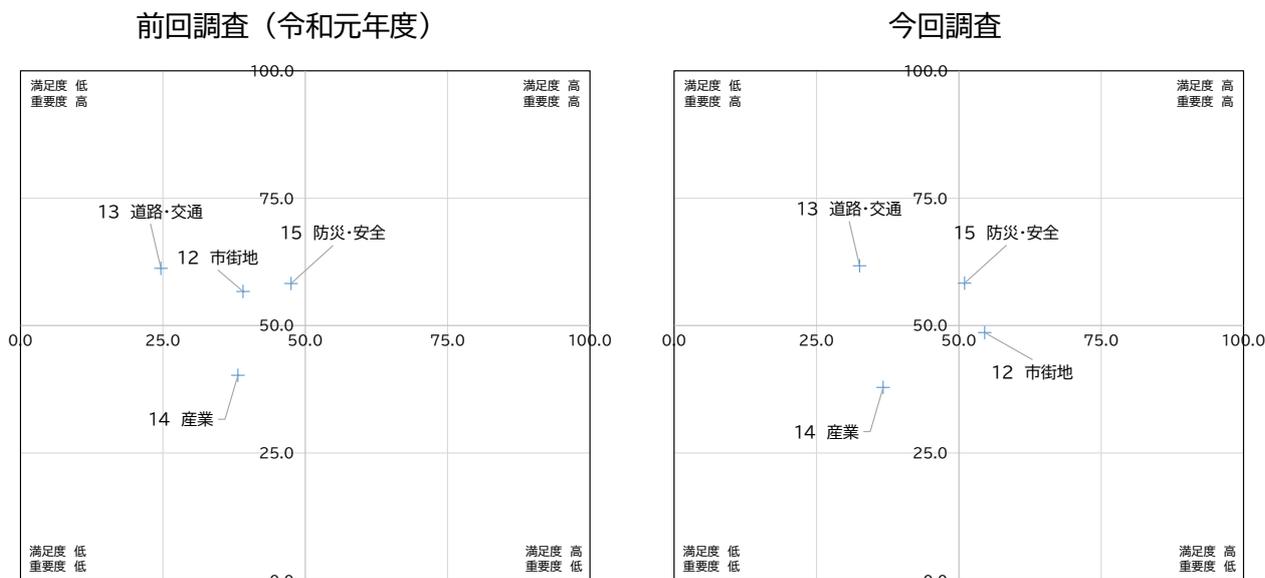
分野	5年後の目標	施策	R7達成見込
分野12 市街地	自然環境、都市機能と住生活の調和が保たれたまちで、都心拠点の充実と市街地の魅力向上が展望できる。	1. 中心市街地整備の推進	2.83点
		2. 調和のとれた都市形成	2.5点
		3. 都市機能の再創造	2.67点
分野13 道路・交通	道路の整備や、交通のネットワーク化が進み、誰もが移動しやすいまちになっている。	1. 交通ネットワークの充実	2.5点
		2. 道路空間の整備	2点
分野14 産業	地域内の経済循環が高まり、さらなるまちの魅力・活力の創出により市内外からの新たな交流が生まれている。	1. 商工業・観光の振興	2.6点
		2. 営農支援	2.33点
分野15 防災・安全	防災機能が強化されたまちで市民生活の安全が守られ、地域のつながりによる日常生活の安心が保たれている。	1. 都市の防災機能の向上	2.75点
		2. 災害時に生きるネットワークづくり	2.5点
		3. 安全・安心な地域づくり	2.5点

※ 達成状況は実施計画事業ごとの目標の達成状況について、「達成」3点「8割程度」2点「5割程度」1点「2割以下」0点、として加算し、その平均を施策の点数として算定。

■ 分野別の満足度と重要（市民アンケート調査結果）

満足度・重要度のプロットをみると、「防災・安全」は重要度・満足度ともに高く、「道路・交通」は重要度・満足度ともに低くなっています。前回調査と比較して、全体的に満足度が高くなっています。とくに市街地は満足度が高くなっています。

《満足度・重要度のプロット比較》



※ 前回調査との比較のため、重要度、満足度のそれぞれの加重平均の平均値を50として、各政策分野の加重平均値を置き換えている。

■ 施策評価

【分野 12 市街地】

施策	施策 1 中心市街地整備の推進	施策 2 調和のとれた都市形成	施策 3 都市機能の再創造	
5年後の目標	ひと中心のにぎわいのあるまちをコンセプトに阪急長岡天神駅周辺整備基本計画の実現に向け、具体的な整備に着手する。	住・工・商の計画的な土地利用の上で、高い生活利便性を実現し、良好な都市空間が形成されている。	人の流れをまちに誘導し、新たな交流とにぎわいを生み出している。	
実施計画事業	<p>① 阪急長岡天神駅周辺整備事業</p> 駅西地区で地権者との意見交換や調査を通じて将来像を検討し「阪急長岡天神駅西地区市街地整備事業地権者検討会」を設立しました。連続立体交差事業の影響を受ける駅東地区では、「長岡天神駅東口広場公園」が開園し、南エリアの暫定駐輪場・ロータリーの概略設計を行ったところです。 <p>② 新庁舎等建設及び周辺整備事業</p> 令和4年11月に1期庁舎が完成し、2月に供用開始。西側道路整備の1期工事も完了し、東棟、南棟の解体工事を完了して、2期庁舎建設工事に着手したところです。 <p>③ 長岡京駅前線整備事業</p> 「長岡京駅前線（第4工区）整備工事その2」の工事に着手しました。用地買収率100%の目途が立ち、用地買収や埋蔵文化財調査、仮歩道等の整備を行いました。 <p>④ JR長岡京駅関連整備事業</p> 舗装工事や植栽工事を実施し、東口駅前広場の整備が全て完了しました。	<p>① 良好な住環境の推進</p> 住環境に係る条例及び施行規則の基準等の見直しを行い、共同住宅建築に伴う駐車場及び駐輪場の設置台数や集会所の設置基準の変更についてまちづくり審議会から答申を得ました。 <p>② 住宅の管理促進事業</p> 苦情があった空き家の所有者に対して適正管理のお願い文書を送付し、是正されているか現場確認を行いました。植物に関する苦情については、ほぼ是正され、空き家所有者と近隣住民との連絡先交換が比較的進みました。 終活や市の空き家政策について、2つの団体に出前ミーティングを実施し、空き家になる前から自宅の将来について考えていただくきっかけ作りができました。	<p>① コンパクトシティ推進</p> 西山天王山駅周辺地区や都心ゾーン地区の都市再生整備計画に基づいて、済生会京都府病院の移転支援や庁舎周辺整備、新庁舎1階ロビー整備、長岡第四小学校建替え、JR長岡京駅東口駅前広場整備などを行いました。 <p>② 公共施設再編整備事業</p> 「長岡京市公共施設等総合管理計画」及び「長岡京市公共施設等再編整備構想2021」に基づき、未利用地の活用を進めています。旧老人憩の家跡地は、駐車場用地として民間事業者に貸付けを開始し、西山公園グリーンハウス内の活用方針を決定するとともに、新設予定施設の指定管理者候補を選定しました。	
市民意見 (アンケート調査等)	<ul style="list-style-type: none"> 長岡京らしい、寛げて安らげる空間もある駅前開発を。 西山天王山駅、長岡京駅付近に、買い物、飲食店など、市民や観光客も寄れるところ、子連れでも入れるところを増やしてほしい。 公園、スーパーの充実には満足しているが、子供用品店がない、書店は小さい等物足りない。バンビオに商業施設がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 竹林や山が住宅地になり、空き家が増えている。自然環境を残してほしい。 山手の住宅開発よりも中心部の空き家対策が大事だと思う。 住宅のすぐ近くで野鳥の姿や鳴声を聞く事が出来て素晴らしい。街中に適度な緑があり、ふとした時に自然の重要性を感じられる今の素晴らしい住環境の維持を。 	<ul style="list-style-type: none"> 歩いて楽しめるまちになる様、個人商店の増加をめざす。新しいストリート（ポップアップ店）などが気軽に街づくりできる様にして、イベント（音楽）等を取り入れ、街を元気にしてほしい。 （茨木市のおにクルのような）行ってみたい施設や、新しいお店を誘致する。 	

【分野 13 道路・交通】

施策	<p>施策 1 交通ネットワークの充実</p>
5年後の目標	<p>超高齢社会やエコライフ実践を踏まえた交通ネットワークが充実しており、誰もが安心して快適に移動できている。</p>
実施計画事業	<p>① 公共交通基盤整備事業 持続可能な新たな「公共交通中心のまちづくり」の実現に向けた利便性向上・利用促進策の導入、路線バスのルート・ダイヤの再編、路線バスの運賃適正化の3つの柱を継続して取り組んでいます。 京都済生会病院の移転開院に対応したはっぴいバスのルート・ダイヤの変更、阪急バスの通学定期券および高齢者用フリー定期券の購入補助やバス利用後のタクシー初乗運賃を無料にする公共交通乗継事業を開始しました。</p> <p>② 自転車ネットワーク路線整備事業 「長岡京市自転車活用推進計画」に基づき、優先整備路線の整備を進めました。整備率は市道で 27.4%、府道で 71.7%となっています。</p>
市民意見 (アンケート調査等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前にロータリー、バリアフリー化、踏切の高架化などを整備する。(関連：中心市街地整備の推進) ・ 自転車用のレーンや道路を整備する。 ・ 市内の移動が不便。バス、コミュニティバスの本数を増やしてほしい。 ・ 中心部から離れると移動が不便。

施策 2 道路空間の整備

道路空間の安全性と快適性の向上のため、歩車道の維持管理や再整備が適切に行われ、バリアフリー化が進んでいる。

① 府施行御陵山崎線整備事業
京都府と連携し、埋蔵文化財調査や地下埋設物の移設工事、排水構造物等の整備を進めています。道路幅に併せた無電柱化を図ることとなり事業認可期間が令和 7 年度まで延伸しています。また、早期事業効果発現のため、御陵山崎線（第 4 工区）の事業が認可されたところです。

② 交通安全施設整備事業
こども園や四小前、光明寺などに隣接する市道の歩道整備を進めています
このほか、京都府や近隣市町と協議を重ね、市民への説明会やパブリックコメントを経て、都市計画道路のルート見直しを行い、現時点で不要と判断しています。

③ 都市計画道路の見直し（R4 未廃止）
17 路線 34,400mの都市計画道路のルートについて、見直しを実施し、現時点では不要と判断しました。

- ・ 子どもたちが安心して通学できる歩道の幅を確保する。
- ・ 地点を案内する標識、路面標示が消えている所を補修する。

【分野 14 産業】

施策 1 商工業・観光の振興

都市活力の基盤を守る工業が元気で、商業・観光がもたらすにぎわいと交流に、まちがさらに活気づいている。

① 企業誘致の促進
長岡京市企業立地促進条例等に基づき助成金を交付、企業進出に係る相談に対応しています。地元雇用の強化を図るとともに、既存企業の流出防止策の検討体制を整えました。

② 中小企業の総合的な振興
中小企業振興基本条例に基づく中小企業振興推進会議を開催し、地域経済の現状や課題を共有しながら、中小企業の総合的な振興を図っています。ビジネスカフェを通じた創業希望者支援、商工会支援による中小企業者への経営改善指導やプレミアム付電子商品券「ガラシャ Pay」への補助などを実施しました。

③ 新・観光戦略プラン推進事業
体験コンテンツの紹介資料のデジタル化やマルシェイベントの開催支援、2025 年大阪・関西万博やインバウンドを見据えた海外の旅行者向けのモニターツアー（ファミトリップ）を実施するなど、観光消費額の向上と魅力発信につながる民間主導の取り組みを促進しました。

④ 観光誘客事業
大河ドラマの効果を一過性としないため「勝龍寺城築城 450 年祭」の実施、京都郊外の「目的地」としてのエリアイメージを図りました。広域連携の取り組みとして、京都西山の社寺をめぐるキャンペーンやデジタルスタンプラリーを実施しました。

⑤ 中小企業振興条例の制定（R4 未廃止）
令和 4 年 9 月 30 日に「中小企業振興基本条例」を制定し、キックオフイベントの開催により、事業者・市民へ普及啓発を実施しました。

- ・ 飲食店がないので、飲食店を誘致する施策も必要では。駅前での食事に困る。
- ・ 娯楽施設や一年通して何度も楽しめるような観光施設が全くなく、長岡京市では娯楽費をほとんど使いません。竹林を駐車場付きの複合施設にして、市民の憩いの場があればもっと経済循環が高まるのでは。向日市・大山崎だけでなく京都市や高槻市からも人が集るくらいの施設があればよい。
- ・ 若い起業家を育てるシステムが必要。ベンチャーである程度成功した人の話を聞く機会をつくる（高校生向けのセミナーの実施）

施策 2 営農支援

安定した農業経営の維持と農地の保全により、都市と農地との共生が図られている。

① 担い手育成による農地保全事業
特産物の栽培技術、品質向上を図るための「ナス」「花菜」の品評会や、環境負荷の少ない農業の推進と特産物の高付加価値化、農業経営の拡大や効率化といった取り組みに対して補助を行い、担い手の育成を図っています。

② 「農」を通じた交流と地産地消の推進事業
市内スーパーへのインショップ出店を行うとともに、小中学校給食への地元産農産物の安定供給のため納品調整を行いました。地元産野菜の直売会（ガラシャ祭・農業祭）、たけのこや農産物の直売所の情報発信による、特産物の販売促進と PR を行いました。

③ 有害鳥獣対策の推進事業
有害鳥獣捕獲や捕獲檻の新規設置や煙火による追い払いを行い、また、金網防護柵の点検・補修を行って、農作物被害の軽減に取り組んでいます。広域捕獲事業を継続して実施するとともに、乙訓猟友会と連携のもとで有害鳥獣の個体数管理を行っています。

- ・ 筍の産地だと思っていたが辞めていく筍農家さんが多く、支援をしてほしい。

【分野 15 防災・安全】

<p>施策</p>	<p>施策 1 都市の防災機能の向上</p>	<p>施策 2 災害時に生きるネットワークづくり</p>	<p>施策 3 安全・安心な地域づくり</p>	
<p>5年後の目標</p>	<p>市民の生命・財産が地震や浸水被害などから守られるよう、自然との調和を保った適切な防災対策が図られている。</p>	<p>災害が発生しても適切な対応ができるよう、様々な主体が、平常時からタイムラインに沿った行動計画の策定や、訓練において協働し、知識普及と意識啓発に努めている。</p>	<p>自助・互助・共助、公助が相互に補完しあい、防犯・交通安全など、地域の生活の安全・安心をつくり守る力が強まっている。</p>	
<p>実施計画事業</p>	<p>① 雨水浸水対策事業 いろは呑龍トンネル南幹線への接続工事の完了により、大雨時の雨水取り込みを開始しました。犬川排水区では、雨水貯留施設の築造工事、神足雨水ポンプ場の詳細設計・工事を実施しました。</p> <p>② 東部防災拠点の整備 東ポンプ場閉鎖後の跡地に防災・スポーツ施設を建設する計画を進め、各種課題を整理しました。</p> <p>③ 住宅・建築物耐震改修等事業 耐震改修補助やエコリフォーム補助の相談者に対し制度案内を行い、耐震診断事業では木造住宅耐震診断士の派遣等も実施しました。</p> <p>④ 防災重点農業用ため池の安全管理事業 防災重点農業用ため池の劣化状況評価や地震・豪雨耐性評価を実施しました。金原寺池の防災工事に向けた詳細設計や芦原池の防災工事に向けた協議を進めました。</p> <p>⑤ 避難所機能及び防災備蓄物資等の充実（R4 未廃止） 備蓄物資等について長岡京市備蓄計画に基づき更新しました。また、災害時に速やかに利用できるよう、長法寺小学校のマンホールトイレを改修しました。</p> <p>⑥ 防災情報伝達手段の整備事業（R4 未廃止） 市公式 LINE、Facebook、Twitter で防災関連情報を一斉に発信できるように仕組みを統一しました。FMおとくにと連携し、災害時の緊急割込み放送訓練や災害発生時に情報収集のツールとして活用できるよう広報活動をしました。</p>	<p>① 地域防災力向上事業 市主催の防災訓練、地域住民主体の避難所運営訓練、関係機関合同訓練、職員訓練、住民啓発事業や出前ミーティング、マンションの自主防災活動推進のための助言等を実施しました。</p> <p>② 災害ボランティアセンター充実事業 災害ボランティアセンター設置運用訓練を実施し、住民向けの防災講演会や自治会・自主防災会、小学校等での出前講座を実施しました。</p> <p>③ 災害時要配慮者支援体制づくり 災害時の要配慮者支援名簿の作成のため、登録案内と意向確認、対象外の人への案内を進め、民生児童委員と自治会・自主防災会へ提供しました。また、登録者への「長岡京市災害時とともに助けあう制度登録済シール」の配付、連携先との研修会、出前講座、意見交換、講師派遣を実施しました。</p>	<p>① 安全・安心地域見守りネットワーク事業 防犯カメラシステムの適切な管理と活用を行い、警察との連携・協力を進めました。出前ミーティングや防犯委員による青色回転灯パトロール車を活用した巡回及び特殊詐欺防止の啓発を行いました。</p> <p>② 交通安全普及事業 通学路の安全対策や交通安全教室を実施し、交通事故防止に努めました。市民要望場所や交通事故多発場所等において、交通ボランティアや警察と共同で自転車や歩行者に啓発活動を行いました。</p>	
<p>市民意見 (アンケート調査等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 小畑川の河川整備や電柱の洪水ハザードなど水害に対して備えている姿勢に安心した。 LINE メニューの「通報」を「通報・報告」にした方が利用しやすいのでは。 川の工事は災害に備えてだと思いが市民に伝わっていない。 避難場所も、高地避難所へ行っても良いか、川沿いの住居に土のう等浸水対策の補助や説明があっても良いのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全に避難ができるよう、体が不自由な人も一緒に訓練できる機会がほしい。 高齢化や若い世帯の自治会離れで運営が難しい自治会に対して、市が防災や安全を主に運営を補助するシステムを検討してほしい。 避難場所の被害状況の確認方法、避難の判断基準等が知りたい。 防災施設間で協力体制があるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 有事に機能する組織に市民が参加していく意識の向上がはかれる仕組みの構築が必要 LINE 登録で来る防災情報に、空き巣や痴漢、不審者情報も入れてほしい。 防犯カメラ、信号、街灯の増設。防犯カメラ設置の補助をしてはどうか。 	